



dNaga Dance Company

ディナガ・ダンスカンパニー

PEACE Project Layers

パーキンソン病の病を一層ごとに取り除いてゆく「ピース・プロジェクト・レイーズ」

ディナガ・ダンスカンパニーは、2019年6月4日～7日の「世界パーキンソン会議」にてパフォーマンス公演を予定しており、6月8日に東京で公演を計画しています。このピース・プロジェクトは、パーキンソン病の人たちに心休まる（平和）生活を過ごせるための切実な探求をしながら、ダンスを通して表現します。このユニークなカンパニーは、御覧になられた方々の心を癒し、素晴らしい経験になることと思います。

1 公演 PERFORMANCE

「Peace Project: Layers」は、パーキンソン病を通して、意欲的に、力強く、クリエイティブに生きる日系アメリカ人に、感銘を受け、立ち上げました。振付は、パーキンソン病の経験を取り巻く心の持ちかたや意味などを探ります。パーキンソン病の特徴に影響された動きは、不明瞭や明確さ、2分化された非対称などにフォーカスし、展開されます。ダンサーたちは、ジョエルダベル氏のオリジナルのライブ音楽に、日本語と英語で録音されたパーキンソン病のインタビュー音で踊ります。

日程	2019年6月7日(金)・8日(土)
時間	19:00 開演 (開場は30分前)
会場	豊洲シビックセンターギャラリー
対象	どなたでも先着100名(要予約)
料金	無料

2 ダンス・フォー・PD[®] 体験講座 PROGRAM

パーキンソン病を患う人達がダンスの喜びと楽しみを享受できるようデザインされた、世界的にも高く評価されているプログラムを体験しませんか。ダンスの経験は問いません。お互いに交流しながら、発見や驚き、そしてダンスを通して共存することを学びます。

日程	2019年6月8日(土)
時間	15:00～16:30
会場	豊洲シビックセンターギャラリー
対象	中学生以上先着25名(要予約)
料金	500円
お申込・お問合せ	豊洲文化センター窓口またはお電話で

● 豊洲文化センター (9:00～21:00)
東京都江東区豊洲 2-2-18
豊洲シビックセンター 8F
tel : 03-3536-5061

ディナガ・ダンスカンパニー・ディレクター「クロディン・ナガヌマ」

2007年からパーキンソン病の人たちにダンスを教えており、dNaga ダンスカンパニーの主宰者でもあります。2014年には、「ザ・ガールズ・プロジェクト」を立ち上げ、イーストオークランドの11歳から14歳の女子にエンパワーメント的、応援するサポートをするためのクラスを教えています。また、英文学のB.A. 修士をドミニカン・カレッジ大学、そして芸術学修士(振付、ダンスパフォーマンス)をミルズ・カレッジ大学から取得しています。

1992年から2004年までアジア・アメリカン・ダンスパフォーマンスのアーティストティック・ディレクターを担当、アジア・パシフィック・アイランダー文化センターの創立にもかかわっています。ジャコブズ・ピロウ(Jacob's Pillow)では、ヤング・プレゼンター賞を受賞し、Jack Loftis & Vibeke Strand Honorary のジェラッシュ・アーティスト・レジデンシーに招聘され、参加しました。1999年には香港の Hong Kong Fringe Club とサンフランシスコの Yerba Buena Center と交流アーティストとして選ばれました。

現在は、オークランド、SFで Dance for PD(パーキンソン病)や、若いダンサーとパーキンソン病の人々が交流するクラスなどを教えています。今回は、パーキンソン病のダンサーを引き連れて、来日いたします。

ディナガ・ダンスカンパニーの紹介

オークランド、カルフォルニアを拠点とした、広い年代によるダンスカンパニーで、パーキンソン病と若いダンサーたちがともにお互いに探求しあいながら、経験や、頑張り、恩恵などをシェアしていき、そのダンスは、一人きりの闘いを、他者と一緒に創造的に表現する機会を与えてくれます。そうすることにより、若いダンサーも大事な体験をし、一緒に創造を膨らましてゆくことができます。ディナガの演出とともに、コラボレーションをしながら、オリジナル音楽、イメージ創造性、個人の物語、詩、疑問、最新のパーキンソン病リサーチなどを探って行きます。